



月刊みゆ〜ず・暮らしの情報のバックナンバーはホームページでご覧になれます。

## グリーントマトの 子育て日記

### 我が子を手に掛ける時……

母親が我が子を殺す事件。なんて母親だ！と、非難の声ばかり耳にするが、そこには必ず、ニュースでは見えない背景がある。もちろん、子どもを殺すことは許されることではない。しかし、それは同じ母親である私も、子育てに疲れ、かんしゃくをまわす我が子を前にしたら衝動的にあり得ないわけではないと感じる。実際に行動するか踏み留まるか……その差はやはり、その感情に行き着くまでの背景の深刻さではないだろうか。

今年3月まで、虐待をする夫と別居して住みなれた故郷で子育てをしていた彼女。田舎は隣近所みんなが知り合い。子ども達に目をかけ声をかけ温かく見守る大人達が目がたくさんあった。少々の発達障害をあまり意識することもなく、その子は他の子ども達と一緒にのびのび元気に過ごしていた。しかし、検診の時、小学校に上がるなら障害や事情のある子ども達をホローする特別支援学級に入った方がいいと医師が言った。その地域の小学校には特別支援学級はなく、入学すれば他の子ども達と同じ学級で勉強することになる。彼女は急に不安になり、子どもを特別支援学級がある別の小学校に入学させることにした。そして、入学を期に、別居していた夫と再び一緒に暮らすことにした。そこから車で40分ほど離れた地へ引っ越し、家族だけの暮らしが始まった。その地域は、次々とマンションが建つ振興地域。当然周りは知らない人ばかり。あまり社交的な

性格ではない彼女は、子育ての相談をするような友達関係をつくれないうまだった。生徒数もこれまでの学校の10倍以上ある。子どもにとっても新しいお友達ばかり。クラスのお友達はできたものの、放課後一緒に公園で遊ぶほどの関係はつくれなかったのかもしれない。環境が全く変わり、新しく始まった夫との生活や子どもの学校生活は決して楽なものではなかった。これまで子どもと離れていた夫には子育ての事など当てにはできず、夫婦の関係もなかなかうまくいかない。また、小学校に上がると、うちの子は他の子と違う……その現実をまざまざと見せつけられる。

「何でしつとできないの。何で言うこときけないの。何とかしなければいけない。この子を何とかするのは自分の責任。全ては自分がやらなければ。これからしつとずーっと自分が……」

彼女は真面目だった。真面目に思い悩み、もともと持病や軽いうつ病もあったことから自分を追い込んでいった。表面上は普通に振舞えるものの、彼女自身、疲れていた。心の中は孤独だった。

これで果たして母親だけを責められるものだろうか。ここには社会の問題が見え隠れしている。「今の母親は怖いねえ」ではなく、そうまでさせてしまう今の社会は怖いのだ。奈落の底に落ちてしまいう前に、途中、引っ掛かるためのいくつかの網がかけられていなければならぬ。これらの悲しい事件の背景は、それを示しているように思えてならない。(森)

## 温故知新

暮らし、経済、価値観など社会のありようが大きく変わろうとする今こそ、先人の教えをかみしめて一家の絆を強くする時です

みなさんのご家庭には明治、大正、昭和、平成の各時代を生きた手本になる人がいます。

そしてそれぞれの時代、苦楽を共にし、悲喜こもごもの思い出の詰まった写真があります。

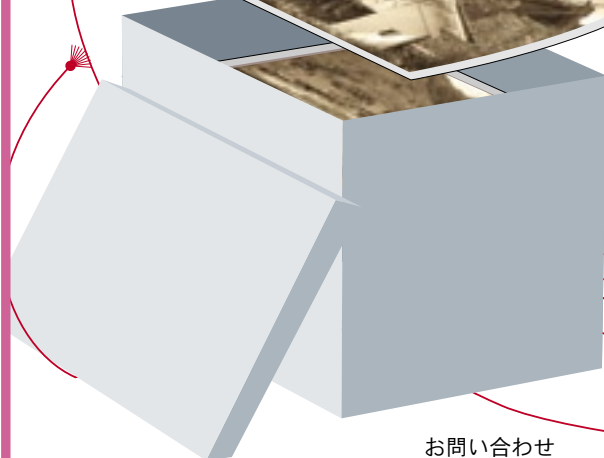
今はもう色が変わってしまったもの、隅の方がボロボロになってしまったもの……どれもが当時の暮らしを伝える貴重な宝物です。

そんな写真を集めて、我が家の写真集を作りませんか。きっとあなたの一族を強い絆で結びつけ、家族の大切さを見直すよい機会となるでしょう。

制作は1冊からお受けします。

大切な写真が散逸してしまわないように  
一冊の写真集にまとめるお手伝いをします

ふるいこを研究し、新しい知識をひらいていくこ(国語辞典)



お問い合わせ



合資会社 東兄弟印刷所

八女市祈禱院563 ☎0943-24-2111

## お知らせ うつの家族教室ご案内

- 日時** 毎月第2月曜 14:00~15:30 (11/10、12/8、1/19、2/9、3/9)
- 会場** 福岡県八女保健福祉環境事務所
- 内容** 講話・家族の方との交流会 **参加費** 無料

参加ご希望の方は、電話かFAXでお申し込みください。  
問い合わせ先 福岡県八女保健福祉環境事務所 障害者福祉係  
担当:眞崎、馬場  
TEL 0943-22-6966 FAX 0943-23-7044